

政策環境建設常任委員会 議事次第

令和 7 年 11 月 21 日(金)

午 後 1 時 3 0 分 ～

於 : 第 2 委 員 会 室

1 開 会

2 所管事項の調査

「京都府における海洋プラスチックごみの課題と対策について」

参考人：クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス

(C L O M A)

事務局長 黒岩 進 氏

3 そ の 他

4 閉 会

政策環境建設常任委員会 出席要求理事者名簿
(11月21日)

【総合政策環境部】	
総合政策環境部技監	笠 原 淳 史
政策環境総務課長	野 村 宗 平
循環型社会推進課長	水 落 高 明

(計 3 名)

京都府の海洋プラスチックごみ対策の概況

令和 7 年 11 月

総合政策環境部

1 海洋プラスチックごみに係る現状等

- ・プラスチックは、環境中で長期間分解されず、砕けるとマイクロプラスチック化
- ・海岸漂着物は、ペットボトル、漁具等のプラスチックごみが多くを占める
- ・河川等を通じて、内陸域からペットボトル等の生活系プラスチックごみが流出

＜京都府の海岸漂着物の現状＞（令和 7 年度調査結果。流木等の自然物を除いた重量比）

京丹後市岩田海岸：プラスチック 90%、ゴム 1%、その他 9%

舞鶴市瀬崎海岸：プラスチック 91%、ゴム 4%、その他 4%

2 対策の方向性

＜計画＞

令和 3 年 1 月 「京都府プラスチックごみ削減実行計画」策定

令和 3 年 3 月 「京都府海岸漂着物等対策推進地域計画」改定

＜対策の基本的な方向性＞

- (1) 海岸漂着物等の円滑な回収・処理の推進
府、市町、企業、漁業者等が一体となって回収・処理を推進。
- (2) 海岸漂着物等の発生抑制対策の推進
使い捨てプラスチックの 2 R 推進や、海洋分解性プラスチックの普及を支援。
内陸域においても市町村、地域団体等と連携した清掃活動を促進。
- (3) 海岸漂着物等の普及啓発・環境教育の推進
海岸保全や対策の必要性等について府民への啓発や環境教育を推進。
- (4) 多様な主体との連携の推進
国、市町村、地域団体、企業等と課題に応じて連携・協力し、取り組む。

3 令和 7 年度の主な事業内容

○海岸漂着物地域対策推進事業費

58,624 千円

- ・市町村が行う海岸漂着物の回収・処理事業への支援
- ・学校等と連携した発生抑制に向けた啓発や環境学習の支援

○きょうとプラスチックごみ対策強化事業費

30,000 千円

- ・先進的なプラスチックごみ削減事業（リユース容器、はかり売り等）への支援
- ・代替プラスチック製品の技術開発への支援
- ・地域団体の美化活動に必要な資機材等の配布支援